

経常収支比率の状況

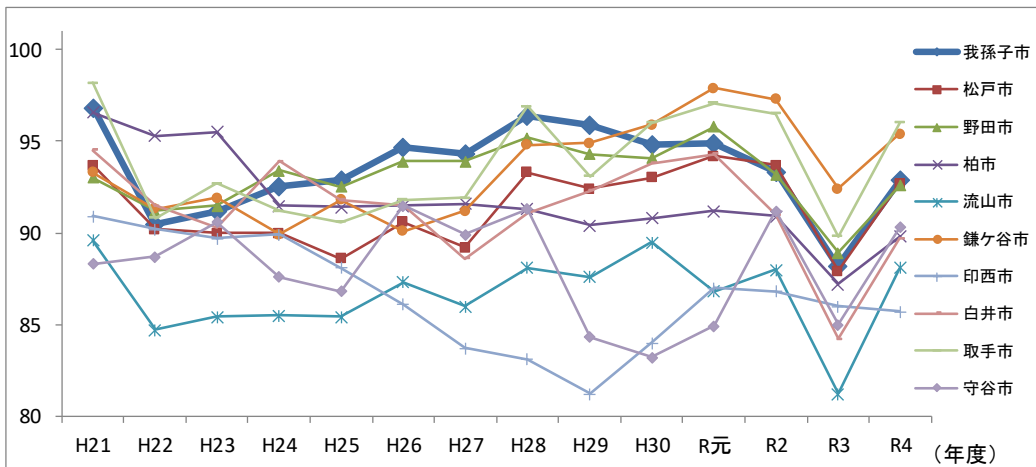
- 「経常収支比率」は、財政構造の弾力性を測る比率で、人件費や扶助費のように毎年度経常的に支出される経費（経常的経費）に充当された一般財源の額が、地方税や普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源（経常一般財源）や臨時財政対策債などの合計額に占める割合です。

	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R元	R2	R3	R4
我孫子市	96.8	90.5	91.2	92.5	92.9	94.7	94.3	96.4	95.9	94.8	94.9	93.3	88.2	92.9

（参考）近隣市の経常収支比率の推移

	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R元	R2	R3	R4
野田市	93.0	91.2	91.5	93.4	92.5	93.9	93.9	95.2	94.3	94.1	95.8	93.2	88.9	92.6
柏市	96.6	95.3	95.5	91.5	91.4	91.5	91.6	91.3	90.4	90.8	91.2	90.9	87.2	89.8
流山市	89.6	84.7	85.4	85.5	85.4	87.3	86.0	88.1	87.6	89.5	86.8	88.0	81.2	88.1
鎌ヶ谷市	93.3	91.3	91.9	89.9	91.8	90.1	91.2	94.8	94.9	95.9	97.9	97.3	92.4	95.4
印西市	90.9	90.2	89.7	89.9	88.1	86.1	83.7	83.1	81.2	84.0	87.0	86.8	86.0	85.7
白井市	94.5	91.5	90.3	93.9	91.8	91.5	88.6	91.1	92.3	93.8	94.3	91.0	84.2	89.7
取手市	98.2	90.8	92.7	91.2	90.6	91.8	91.9	96.9	93.1	96.0	97.1	96.5	89.8	96.0
守谷市	88.3	88.7	90.6	87.6	86.8	91.5	89.9	91.3	84.3	83.2	84.9	91.2	85.0	90.3

■（参考）当市と近隣市の経常収支比率の推移



- 印西市は、平成22年3月23日に旧印旛村、本埜村と合併しました。

地方債残高の状況

- 事業債の割合は年々減少していましたが、令和3年度以降の新クリーンセンター整備事業の本格化などにより増加しました。
- 臨時財政対策債は、国が地方公共団体に交付する地方交付税の財源不足に対処するため、不足額の一部を一旦地方公共団体に借金をしてまかなっておくものです。

■地方債の借入残高と内訳の推移

